百の主張より一つの行動

あさい正仁

自由市民
号　外
あさい正仁
特集号

自由民主党　名古屋市会議員団　市会議員

世の中全体が未曾有の景気に浮かれたバブル景気、そしてその後の深刻な不況や世界経済を震撼させたリーマンショック、さらには東日本大震災をはじめとする様々な自然災害や度重なる風水害による被害が続くなど、激動の時代であった平成がまもなく終わりを迎えます。国政では、人口減少社会を迎える日本が、社会の活力を維持していくために不可欠な外国人材の活用、社会保障の財源確保、そしてわが国を取り巻く国際情勢が大きく変化する中での安全保障の問題など、依然として対処すべき多くの課題が山積しており、引き続き十分な議論が必要なのではないかと思っています。

身近な市政においても、平成になってからの30年間には、埋立処分地の確保か自然保護かで揺れた藤前干潟を巡るごみ問題、高齢化が進展する中での持続可能な敬老パス制度の模索等、様々な課題が次から次へと生じてきました。私はこうした課題から目をそらさず、ありのままの事実を市民の皆さんに伝え、市民の皆さんと共に考え、実行していくことが求められていると感じ、地元中川区で市会議員として活動しています。今回は私の名古屋市政に対する最近の取り組みを皆様にお知らせしたいと思います。

「汗と正直さが報われる社会をつくるために！」

教育　市立小学校牛乳用調味料の導入へ

メ～テレ

あさい正仁の提案

名古屋の小学校では、給食に牛乳が出ます。牛乳はカルシウム等、子ども達の成長に必要な栄養素をトータルに含んだ総合栄養食品で、カルシウムはたづくり30本分に相当するなど、貴重な栄養源でもありますが、牛乳が苦手なお子さんもいて、名古屋市内では小学校では年間174トン、牛乳瓶に換算すると84万本、中学校で158トン、牛乳瓶76万本の牛乳が飲まれずに捨てられています。ちなみに金額に換算すると小学校では年間約4300万円、中学校では年間約4000万になります。食料資源の無駄遣いだけでなく、金額的にも大きな損失です。しかしながら、牛乳が苦手な子でも、コーヒー牛乳やフルーツ牛乳なら飲めるよ!っていうお子さんもいます。

神戸市ではすべての学校で、仙台、さいたま、千葉、新潟、静岡、浜松、岡山でも一部の学校で、牛乳用調味料が導入されており、飲み残しの減少に貢献しています。そこで、牛乳に混ぜてコーヒーやイチゴミルク風味にして飲む粉末の牛乳用調味料等、子どもたちの牛乳離れを食い止めるための給食メニューについて教育委員会に質問しました。

31年の秋から牛乳用調味料を導入することに!!

来秋以降に牛乳用調味料
飲み残し対策で導入へ

学校給食

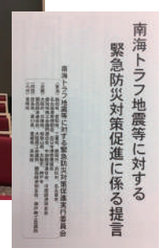
市議会
個人質問

牛乳用調味料のイメージ

中日新聞 30 年 11 月 30 日朝刊

安心・安全　南海トラフ地震等に対する緊急防災対策の促進

緊急防災対策を提言



発生した場合には50万人を超える死者と148兆円もの経済被害が想定される南海トラフ地震。緊急的に対策を推進していますが、その進捗は25%程度で、残りの対策を全て終えるには9,800億円もの莫大な事業費が必要になります。そこで、南海トラフ関係の府県市とともに、十分な予算と財政支援措置などを求める緊急提言を国交省や政府に対して平成30年11月15日に行ってきました。

安心・安全　富田支所への非常用発電機の設置

あさい正仁の提案

災害時の拠点となる区役所には、非常用発電機が設置されています。一方、区役所の支所には発電機は設置されておらず、大規模災害時に停電となった場合、初期対応に支障をきたす恐れのある状態となっています。そこで、市民経済局に対して区役所支所にも非常用発電機を設置するべきではないかと迫りました。

（写真：名古屋市ウェブサイト　富田支所）

支所にも今後、非常用発電機を早期に設置することに！

福祉　同伴幼児の地下鉄・市バスの割引拡大

東海テレビ　ニュース　One

あさい正仁の提案

市バスと地下鉄は、同伴幼児は**大人1人につき幼児2人まで無料**となっていました。子育て支援の観点から2人に限らず、無料とする範囲を広げてはどうか交通局に迫りました。

平成30年5月から4人までの幼児料金について無料化実現！

安心・安全　スプレー缶の安全な捨て方（穴あけない）への改善

中京テレビ　キャッチ

あさい正仁の提案

平成30年に北海道でスプレー缶に引火する大事故が発生しました。名古屋でも、スプレー缶を捨てる際には穴を開けるように要請していましたが、北海道の事故同様、穴を開ける際に誤って引火爆発させるリスクのある非常に危険な状態でした。そこで平成27年6月に**穴をあけずに捨てられる**よう提案し穴開け不要になりました。

スプレー缶の危険性を事前に察知し、安全を先取り!!

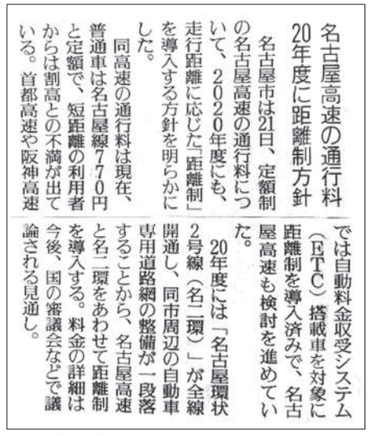
まちづくり　名古屋高速対距離料金制度へ変更

（写真：名古屋高速ウェブサイト）

あさい正仁の提案

平成25年9月市会で、均一料金である名古屋高速道路の料金について、走った分に見合う料金を払う料金制度、すなわち対距離料金制度を導入すべきではないかと質問させて頂きました。それから5年が経ち、首都圏や近畿圏では都市高速とNEXCOの高速道路を一体的な料金となるような改革が進められました。名古屋では、2年後の2020年度には国道302号の高速道路部分である、名二環の南側最後の未開通区間が開通する見込みで、名古屋を中心とする高速道路のネットワークは一定の完成域に到達することとなります。そこで、平成30年9月市会で、名古屋高速において、NEXCO中日本の高速道路ネットワークと一体的な料金制度としての対距離料金制度をいつから導入する予定なのか住宅都市局に質問いたしました。

「2020年の名二環の飛島延長開通時に対距離料金制度へ見直しを行う」ことに!



名古屋高速の通行料20年度に距離制方針

名古屋市は21日、定額制の名古屋高速の通行料について、2020年度にも、走行距離に応じた「距離制」を導入する方針を明らかにした。

同高速の通行料は現在、普通車は名古屋線770円と定額で、短距離の利用者からは割高との不満が出ている。首都高速や阪神高速では自動料金収受システム（ETC）搭載車を対象に距離制を導入済みで、名古屋高速も検討を進めていた。

20年度には「名古屋環状2号線（名二環）」が全線開通し、同市周辺の自動車専用道路網の整備が一段落することから、名古屋高速と名二環をあわせて距離制を導入する。料金の詳細は今後、国の審議会などで議論される見通し。

読売新聞　9月22日朝刊

観光　名古屋城の木造化事業のチェック

NHK

2022年に完成予定とされている名古屋城天守閣の木造化事業。文化財の保存や文化庁との折衝等、必要な手続きが進んでいない状態にも関わらず、「工期を見直す必要はない、間に合う」と発言し続けている市長。もし、間に合わないことを認識していながら、必要な手続きをせずに木材調達などの契約手続を進めているとしたら大変な問題です。情報が市民に知らされず、事業費が増大した場合、そのツケを負うのは市民です。工期の見直しが必要ではないかと、市長に、6月、9月、11月市会のすべての本会議において迫りました。市長からは、間に合うように頑張るという虚しい精神論のような答弁ばかり。

本当に大丈夫なのか、私はこの問題を引続き注視していきます